
群馬県山本一太知事との意見交換会の開催について

令和4年3月9日（水）に、山本一太群馬県知事と一般社団法人群馬バス協会との意見交換会が、群馬県バス協会2階会議室で開催されました。

当日は、山本知事のほか、県土整備部 清水 昭芳部長、松井 紀交通政策課長 関口 義範補佐、池上裕輔主任、知事戦略部 秘書課 大谷 智彦係長の皆様を当協会にお迎えしての開催となりました。

冒頭、山本知事から群馬県が取り組んでいる新型コロナウイルス対策や、将来に向けた施策として、1. リトリート推進、2. 災害レジリエンスNo.1、3. ぐんまのクリエイティブ拠点化推進などを含め、ご挨拶を頂きました。

当協会佐藤会長から、2020東京オリパラ派遣貸切バス運転者に対するワクチンの優先接種、地方バス路線の維持確保、新型コロナウイルス感染防止等の空気清浄機補助等群馬県の各般にわたる手厚いご支援に対する御礼と、県内バス業界の現況報告を含めたご挨拶を申し上げます。

意見交換会は、山本知事が進行役となり、出席した理事会社ごとに最近のバスを取り巻く情勢や要望等を説明し、それらについて知事をご質問されたり、要望等については知事のお考えをお示し頂き、内容によっては「対応策は担当部署とも相談します。」という大変心強いお言葉を頂きながら、進められました。

1時間という限られた時間でありましたが、新型コロナウイルス感染症対策、燃料価格の上昇対策、愛郷ぐんまキャンペーン、バスに対する各種支援策の要望など直接、協会理事各社から山本知事にお話することが出来ました。

同日の山本知事のブログには意見交換会の写真に添えて「参加者全員から話を聞いた。新型コロナの影響は、思った以上に深刻だ。事業者の皆さんは、新型コロナ対策に全力を傾注している。県としても、公共交通としてのバスの安全性をPRする方法を研究してみたい。」（原文のまま）という記載があり、バス業界が大変厳しい状況に置かれていることをご理解いただけたと思います。

この度の意見交換会は大変貴重な機会となり、ご調整を頂いた清水県土整備部長はじめ、交通政策課の皆様は紙面をお借りし、厚く御礼を申し上げます。

以上ご報告致します。

◎意見交換会の様子

